

令和4年度第1回久留米市在宅医療・介護連携推進協議会議事概要

日時：令和5年3月23日(木) 19:00～20:00

場所：久留米医師会館 研究室1・2

出席委員：牟田委員、松隈委員、西岡委員、淡河委員、池田委員、中嶋委員、岡委員、山崎委員、臼杵委員、吉永委員、内田委員、東委員、富安委員、西田委員、南島委員、塚本委員、土師委員、石竹委員、村田委員

欠席委員：なし

傍聴者：なし

1. 開会

2. 開会挨拶

3. 議事

(1) 久留米保健医療圏における在宅医療の提供状況について(資料1のとおり)

報告者：福岡県保健医療介護部 高齢者地域包括ケア推進課

(質疑応答)

なし

(2) 久留米地域包括ケアシステムの現状について(資料2のとおり)

報告者：牟田 文彦氏 (久留米医師会)

(質疑応答)

[委員①] 症例検討会はどのような対象にアナウンスしているか。

[久留米医師会相談員] 施設や医療機関に直接こちらから打診をしている。アウトラインを作成しているので、それを参考に症例を出してもらっている。

(3) 入退院調整部会及びACP部会の現状と今後の方針について(資料3・4のとおり)

説明者：事務局

(質疑応答)

なし

(議決)

[会長] 入退院調整部会及びACP部会は、今後このような方針で進めるということによろしいか。

《異議なし》

[会長] 久留米地域包括ケアシステム事業と入退院調整部会・ACP部会の取組については、今後、緊密に連携しながら進めていく方針によろしいか。

《異議なし》

(4) その他

[会長] E-FIELD研修会を実施しているが、医師の参加が課題。4人1組の参加としているが医師の参加がなければ、修了証がもらえない。今後、研修の案内ポスターを作成し、医師会や研修医がいる久留米大学病院や聖マリア病院等にも配布し参加を募ってはどうか。

また、ACP の市民へのさらなる普及啓発のため、久留米市独自の人生会議のポスターを作成して啓発に努めたいと思っている。

(質疑応答)

[委員②] E-FIELD 研修会の参加要件について

[会長] 4名のうち、医師1名以上を含む多職種チーム（ケアマネジャーや看護師等）での参加を要件としている。

今後、ACP は必須となる。もしかしたら、診療報酬における加算等の算定対象になる可能性もある。

国が実施している E-FIELD 研修会は申込が多く抽選になっている様。同等の内容の研修が久留米市で受講できることがメリットである。周知不足もあるかもしれないので、先ほど説明したような方法で、さらに啓発していきたいと思う。

[委員②] 研修医のプログラムに入れることができないか。

[会長] 日曜日に終日の研修プログラムとなっているため、働き方改革の観点からも参加の呼びかけが厳しい状況がある。ACP は難しいが、やりがいもあるのでぜひ若い医師にも参加して欲しい。

[委員③] E-FIELD 研修会は何かモデルがあるのか。

E-FIELD 研修会は本体と在宅版があり、変形性膝関節症などの症例が事例として出されている。

(議決)

[会長] E-FIELD 研修会・ACP の啓発に係る今度の方針について、先ほど説明した方針でよろしいか。

《異議なし》

4. 閉会

《了》